

事後評価結果（平成29年度）

担当課：中国地方整備局道路部道路計画課
担当課長名：吉田 真人

事業名	一般国道373号 志戸坂峠道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局			
起終点	白：岡山県英田郡西粟倉村影石 至：鳥取県八頭郡智頭町市瀬				延長	18.4km			
事業概要									
一般国道373号は、兵庫県赤穂市から鳥取県鳥取市に至る延長約80kmの主要幹線道路である。志戸坂峠道路は岡山県北東部から鳥取県南東部に位置し、岡山県英田郡西粟倉村影石と鳥取県八頭郡智頭町市瀬を結ぶ延長18.4kmのバイパスである。									
事業の目的・必要性									
事業目的は、緊急輸送道路ネットワークの信頼性向上、輸送時間の短縮、安全・安心の確保、沿線地域の産業・経済の発展である。									
事業概要図									
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	S52年度	用地着手	S52年度	供用年(当初)	— / H30年度	変動	— 倍
		都市計画決定	— 年度	工事着手	S52年度	(暫定完成)	(実績 H24年度 / —)		
	事業費	計画時	(名目) — / 約1,050億円	実績	(名目) 約910億円 / —	変動	— 倍		
		(暫定完成)	(実績) — / 約1,006億円	(暫定完成)	(実績) 約849億円 / —				
	交通量	計画時	— / 12,100~12,300台/日	実績	(暫定完成)	4,400~4,900 / — 台/日	変動	— %	
		(当継続)	(暫定完成)	(暫定完成)					
	旅行速度向上	41.2 → 70.6 km/h		交通事故減少	56 → 4 件/年				
		(供用前年度—当線線)	(供用前年度S55年 (供用後年度H27年)	(供用前年度—供用後年度)	(供用前年度H8年 (供用後年度H27年)				
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	総費用	1,389億円	総便益	1,469億円	基準年		
		1.1	事業費：1,339億円 維持管理費：51億円		走行時間短縮便益：1,217億円 走行経費減少便益：168億円 交通事故減少便益：84億円		H20年		
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用	1,806億円	総便益	890億円	基準年			
	0.5	事業費：1,732億円 維持管理費：75億円		走行時間短縮便益：696億円 走行経費減少便益：118億円 交通事故減少便益：77億円		H29年			
事業遅延によるコスト増		費用増加額	— 億円	便益減少額	— 億円				
事業遅延の理由									
特になし									

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西粟倉村における農林水産品の流通の利便性向上に寄与。 <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。【津山市、姫路市～鳥取市】 <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「あわくらんど」の観光客数が増加した。【入込客数(H19→H28)：188千人/年→192千人/年】 <p>④安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西粟倉村～津山中央病院（第三次救急医療機関）の所要時間が短縮した。 【西粟倉村～津山中央病院：約64分→約42分】 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県地域防災計画における第一次緊急輸送道路に位置付け。 ・緊急輸送道路ネットワークの信頼性が向上した。 <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量が削減した。【削減量：約2.4千t/年、3,673.2千t/年→3,670.8千t/年】 <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOx排出量が削減した。【削減量：約13.4t/年、11,341.1t/年→11,327.7t/年】 ・SPM排出量が削減した。【削減量：約1.1t/年、543.3t/年→542.2t/年】 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>中国横断自動車道姫路鳥取線や志戸坂峠道路の開通などもあり、布袋工業団地の面積が開通前の約4倍に拡張。</p>
事業による環境	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>特になし</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県美作市・英田郡西粟倉村、鳥取県八頭郡智頭町・鳥取市の人口は昭和50年から平成12年まで増加したが、以降、平成27年にかけて減少【S50：229千人→H12：247千人→H27：230千人】 ・岡山県美作市・英田郡西粟倉村、鳥取県八頭郡智頭町・鳥取市の自動車保有台数は、平成2年から平成27年にかけて増加【H2：98千台→H27：182千台】 ・鳥取ICで連結する山陰道（鳥取IC～鳥取西IC間：約1.8km）が平成25年12月に、国道29号津ノ井バイパスが平成12年度までに全線暫定開通 	
<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備により、輸送時間の短縮、安全安心の確保、沿線地域の産業・経済・文化の発展など、事業目的に見合った効果が確認できることから、今後の事後評価の必要はないと考える。 ・志戸坂峠道路の整備により、一定の効果が確認できることから、改善措置の必要性はないと考える。なお、4車線整備については、今後の沿線周辺などの開発や交通状況等を踏まえて検討する。 	
<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC橋の鋼材配置計画の見直しや、補強土壁のパネル形式の変更など新技術を活用することで、コスト削減を図り事業を完了する事ができた。今後も新技術などを活用し、コスト削減に向けた取組を推進していくことが重要である。 ・また、整備効果にあたっては、3便益以外の把握に努める必要がある。 ・事業評価手法については、一体となって効果を発揮する道路ネットワークについてはそれらをまとめて評価することも重要と考える。 	
<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。